

神戸市内に聴覚障害者総合福祉センターを



▲神戸ろうあハウスの利用者も参加され、広い作業所がほしいと訴えられました

また、家族の会から、子どもがゆったりと働ける場への移転・拡充を、さらに職員からは、引きこもり予防サービス事業が孤立化に追い込まれない大切なものになっているが、要介護の方々も共に利用できるよう拡充の訴えがされました。

◆ふれあいセンターからお願い
ふれあいセンターでは地域の皆さまから物品の提供寄贈をお願いしています。
棚や机、椅子、家電、家庭用品など、ございましたらお願いいたします。

神戸ろうあハウスの職員からは、作業所の現状と構想案への期待について、利用者からは仕事の内容や広い作業所がほしいとの要望が出されました。

最後に、淡路ふくろうの郷大矢施設長から、実態調査活動の提起がされました。聴覚障害者が安心できる施設づくりへの確信を強めること、行政や幅広い市民、県民への共感と理解を得ることにつなげてゆこうとの提案です。予定人数を超える参加者は、神戸市内でのあたらしい事業への期待の表れです。今後は、当事者・家族の主體的な参加と運動を大切にしつつ、夢のある事業の実現に向け一層頑張らなければ、思いを新たにしました。

強く訴えられました。
神戸ろうあハウスの職員からは、作業所の現状と構想案への期待について、利用者からは仕事の内容や広い作業所がほしいとの要望が出されました。

最後に、淡路ふくろうの郷大矢施設長から、実態調査活動の提起がされました。聴覚障害者が安心できる施設づくりへの確信を強めること、行政や幅広い市民、県民への共感と理解を得ることにつなげてゆこうとの提案です。予定人数を超える参加者は、神戸市内でのあたらしい事業への期待の表れです。今後は、当事者・家族の主體的な参加と運動を大切にしつつ、夢のある事業の実現に向け一層頑張らなければ、思いを新たにしました。

構想実現には当事者運動が重要
神戸市内に「聴覚障害者総合福祉センターを作ろう」と社会福祉法人と神戸ろうあ協会等が検討している「神戸市聴覚障害者総合福祉センター構想」についての学習会が、5月26日に神戸市内で開かれ会場満員の130名余が参加されました。
(総務・中村)

社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会・白水理事長から新規事業への期待のあいさつがありました。
NPO法人神戸ろうあ協会廣瀬会長より、神戸市内のろうあ者の生活実態について、特に精神障害をあわせもつろうあ者の事例が報告され、グループホームを含む、医療・就労、コミュニケーション、生きがい等のトータルな支援を担う社会資源の必要性を強く訴えられました。

ろうあ協会の木村事務局長から、「神戸市聴覚障害者総合福祉センター」構想を実現可能とするためにも幅広い意見の集約と当事者運動の重要性が提起されました。

ふくろう新聞

<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL: 0799-25-8550
FAX: 0799-25-8551
ホームページ
<http://www.normanet.ne.jp/hyofuku/>

一 訃報 一

法人設立当初より、ご尽力
いただいたきました、
橋詰武久理事が5月11日に
ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し
上げます。



中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター開所式

とき：7月8日(日) 午後1時30分～
場所：旧中川原中学校体育館

7月8日、みなさまと協働のもと中川原地域住民の豊かなつながり・支え合う地域づくりを目指して取り組んでいます「中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター」が開所する運びとなりました。

みなさまの開所式へのご参加、お待ちしております。

午後4時より淡路ふくろうの郷に於きましてバーベキュー大会も開催されますのでお誘いあわせ下さい。



社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会 2011(平成23)年度決算報告

平成18~23年度法人収支推移表

平成18年4月1日~平成24年3月31日

勘定科目		18年度決算	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度決算	23年度決算	主な内容
經常活動による収支	収入							
	寄付金収入	20,130,595	21,168,243	15,728,208	20,952,204	25,744,306	29,535,957	
	その他受託金収入		20,800,000	20,800,000	20,980,000	20,980,000	20,995,000	淡路聴覚障害者センター
	助成金	11,237,880	19,824,738	9,578,116	7,514,500	9,439,018	14,013,912	
	補助金収入		7,242,850	9,794,160	9,820,198	7,843,170	3,680,000	おのころの家
	介護保険収入・利用者収入	248,299,137	300,734,451	310,821,486	327,545,589	337,575,661	339,635,379	淡路ふくろうの郷
	自立支援費収入					16,007,414	32,084,404	就労継続支援B型
	事業収入		1,947,800	3,736,996	4,389,576	4,823,672	4,034,898	
	雑収入	7,208,555	5,768,107	6,378,129	6,546,768	8,781,302	7,350,307	職員給食費
	受取利息配当金収入	12,132	113,433	170,875	229,587	123,039	281,605	銀行関係受取利息
經常収入計(1)	286,888,299	377,599,622	377,007,970	397,978,422	431,317,582	451,611,462		
支出								
人件費支出	164,547,878	205,704,536	221,695,361	220,200,610	233,688,555	249,233,564	職員給料・社会保険料・中退共他	
事務費支出	22,600,270	22,945,336	18,799,882	18,706,607	18,432,900	21,015,544		
事業費支出	47,208,395	62,645,330	67,818,844	64,049,285	65,168,651	68,221,352		
借入金利息支出	236,712	6,574,315	6,562,500	6,187,500	5,812,500	5,437,500	福祉医療機構利息	
經常支出計(2)	234,593,255	297,869,517	314,876,587	309,144,002	323,102,606	343,907,960		
經常活動資金収支差額(3) = (1)-(2)	52,295,044	79,730,105	62,131,383	88,834,420	108,214,976	107,703,502		
財務活動による収支	収入					3,570,000		
	施設整備等補充金収入					3,570,000		
	固定資産取得支出	9,244,632	5,758,048	1,627,840		4,514,000	287,700	
	施設整備等収支差額(4)	-9,244,632	-5,758,048	-1,627,840		-944,000	-287,700	
	積立金取崩収入(5)	50,000,000						
	施設整備等積立金支出					60,000,000	60,000,000	施設整備等積立
	借入金支出(6)	33,336,000	33,336,000	33,336,000	33,336,000	33,336,000	33,336,000	福祉医療機構・ふるさと融資返済(元金+利息)
特別損失(7)			705,813					
財務活動収支差額(8) = (5)-(6)+(7)	16,664,000	-33,336,000	-34,041,813	-33,336,000	-93,336,000	-93,336,000		
予備費(10)				0	0			
当期資金収支差額合計(3)+(4)+(8)-(10)	59,714,412	40,636,057	26,461,730	55,498,420	13,934,976	14,079,802		
前期末支払資金残高	57,193,679	116,908,091	158,249,961	184,711,691	240,210,111	254,145,087		
当期末支払資金残高	116,908,091	157,544,148	184,711,691	240,210,111	254,145,087	268,224,889		
減価償却費(9)	45,010,784	46,221,617	46,527,449	46,925,061	46,644,758	43,401,161	(減価償却費 - 国庫補助特別積立金取崩額)	
事業活動經常収支差額(決算時)(3)-(9)	7,284,260	33,508,488	15,603,934	41,909,359	61,570,218	64,302,341	(經常資金収支差額 - 減価償却費)	

おめでとうございます!!

取材を受けた手話企画番組が優秀賞受賞

今春、鳥取から手話企画番組制作のため、淡路ふくろうの郷へ取材にいられた「いなびりびよんびよんネット」の「手話で生きたる〜高齢者を迎えた聴覚障がい者たち〜」が3月末、鳥取市内で放送されました。その番組を日本ケーブルテレビ連盟中国支部が主催する「中国地区番組コンクール」に出品したところ、企画番組部門で優秀賞(NHK広島放送局長受賞)に輝いたそうです。各地で高齢聴覚障がい者のため、一人ひとりを大切に作る施設づくりの輪が広がることを願います。なお、番組DVDはふくろうの郷にありますので、鑑賞ください。

2011(平成23)年度決算は、法人全体の經常収支差額(減価償却後)が、6430万円(昨年比273万円増)となりました。

なお、2953万円(昨年比379万円増)の寄付金を除くと、本業で3477万円(昨年比106万円減)と昨年に続き3000万円の目標を超過しました。

淡路ふくろうの郷が、介護保険収入の伸び悩みと人件費増で昨年比536万円の収支差減の中で、おのころの家の事業移行による増収と多額の寄付金で、当初の赤字予算から、昨年度決算を超える過去最高の剰余を出すことができました。

これは、全職員の努力、入居者、家族、地域の皆さんの多大なご協力の成果であり、心から敬意と感謝の意を表します。

骨格提言を尊重した障害者総合福祉法の制定を



▲障害者のために考えた真の法律の制定を訴えました

神戸の東遊園地で開かれた「5・10兵庫集会」にふくろうの郷、おのころの家総勢14名で参加しました。会場は障害者自立支援法違憲訴訟団元原告をはじめ、共同作業所の通所者、パーキンソン病友の会、視覚障害者の会等800名もの参加者で埋まり、政府に「私たち抜きに私たちのことを決めないで!障害者の尊厳を傷付けるな!」とアピールしました。また、集会後、パレードで広く市民に訴えかけました。

初夏の風を感じて〜ご家族と一緒に外出しクリエイション〜

「花木ユニット外出

国営明石海峡公園



▲たくさんの球根をふくろうの郷へ持ち帰りました

5月12日(土)花木入居者全員が国営明石海峡公園へ出かけました。お昼ご飯は思い思いのお弁当。見晴らしの良い芝生の上でいただきました。

お目当ては午後からのチューリップやムスカリの球根掘り！そして見事な晴れ模様！球根を掘り返しながらうっすらと汗をかくほどでした。

一生懸命次々に掘り返していく方や、土に触って昔を懐かしむ方など様々でした。みなさんの頑張りでたくさん球根を持ち帰ることができました。

来年の春には、淡路ふくろうの郷で笑顔の花をほころばすことでしょう。(介護：畠田)

「月川ユニット外出

インタラントの丘



▲まじかで歩く大きな亀に触れることもできました

5月23日(水)月川ユニットの入居者16名とイングラントの丘へ行ってきました。

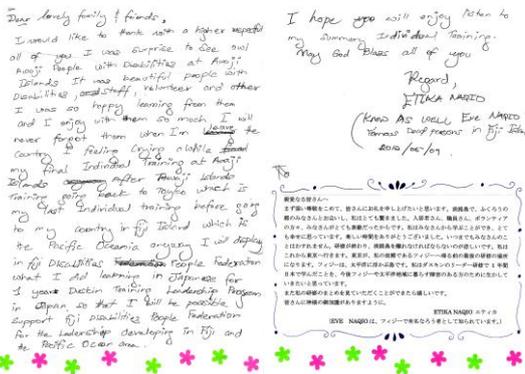
柴山様のご家族も参加されこの日は日差しが強い感じだもの、風が心地よく吹いており、安平中学校から「トライやるウィーク」で職業体験にきていた中学生3名も車イスを押して入居者の移動を手伝ってもらいました。動物と直接ふれあうことのできる場所では、うさぎを抱いて記念撮影や、わがもの顔で移動する亀をみてみなさん喜んでおられました。

お昼にはふくろうの郷から行楽弁当が届き、外で味わう弁当に、みなさん笑顔に。空の下で過ごされた1日をおやかにすごされました。

参加いただいた柴山様、安平中学校のみなさんありがとうございました。(担当：神代)

フィジーからの留学生エティカさん

5月2〜9日まで、ふくろうの郷で研修をされていた、エティカさんがふくろうの郷の皆さんに手紙で思いを綴ってくれました。これからの活躍を期待しています。



▲原文 ▼和訳

親愛なる皆さんへ

まず深い尊敬をこめて、皆さんにお礼を申し上げます。淡路島で、淡路ふくろうの郷のみなさんとお会いし、私はとても驚きました。入居者さん、職員さん、ボランティアの方々、みなさんがとても素敵だったからです。私はみなさんから学ぶことができ、とても幸せに思っています。楽しい時間をありがとうございました。いつまでもみなさんのことはわすれません。

研修が終わり、淡路島を離れなければならないのが悲しいです。私はこれから東京へ行きます。東京が、私の故郷であるフィジーへ帰る前の最後の研修の場所になります。フィジーは、太平洋に浮かぶ島です。

私はダスキンのリーダー研修で1年間日本で学んだことを、今後フィジーや太平洋地域に暮らす障害のある方のために生かしていきたいと思っています。

また、私の研修のまとめを見ていただくことができました。

皆さんに神様の御加護がありますように。

ETIKA NAQIO エティカ (EVE NAQIOは、フィジーで有名なるう者として知られています。)



最初の頃は、思うようにいきま... 二年目の今年からは新メンバー六名を新たに加え、二グループに分かれて行っています。さらに、回想法メンバーの勝楽進・佐代子夫妻の自分史を冊子にする作業が、同大学のご協力を頂きながら同時に進んでいます。ご夫婦の壮絶な軌跡を赤裸々につづった冊子の完成をどうぞご期待ください。(担当：浦井)

回想法とは主に高齢者を対象にし、人生の歴史や思い出などを受容的共感的な態度で聞くことを基本姿勢としています。個人で行う方法とグループで行う方法があり、ふくろうの郷ではグループで行っています。ふくろうの郷での回想法は昨年からは始まり、今年で二年目です。毎月一回、兵庫教育大学の鳥越教授と甲斐精神保健福祉士をお招きして一時間程行っています。

回想法の取り組みについて

続・地域を語る

第42回 郷土の唄(二題)

中川原小唄

作詩作曲者不明

一、中川原よいとこ 我らが里よ
山を背に負い 海見はるかに
いつも春風 そよそよと
ヨイヨイ そよそよと

二、八十八夜も いつしか過ぎて
青葉若葉の 巡礼の頃は
杖を引きましょ 先山へ
ヨイヨイ 先山へ

三、水の大師は 朝日に映えて
金波銀波の 海見わたせば
夏も涼しい 風そよぐ
ヨイヨイ 風そよぐ

四、清水安田は 黄金にみのり
西の山々 錦をよそおえは
乙女姿が 田に見ゆる
ヨイヨイ 田に見ゆる

五、冬の北風 人情で止めて
ここは常春 平和の里よ
げにや 文化の花が咲く
ヨイヨイ 花が咲く

※中川原小学校100年

記念誌より

厚浜小唄

一、ちぬの海原朝霧(めて)

白い帆蔭がちらほらと
コリアサ
浜辺で漁師があびきする
良いとこ淡路の厚浜よ

二、朝の参りは諏訪の社へ

コリアサ
願を解くやらかけるやら
神様にすがるこりやくを
良いとこ淡路の厚浜よ

三、淡路八景水の大師はコリアサ
山を背に負い前は海
金波銀派のさざれ波

良いとこ淡路の厚浜よ
サツテモドウジヤイナ
四、山にや柑橘炭焼く煙
コリアサ
田圃にや米と麦野菜
豊かなるぞえ村の富

良いとこ淡路の厚浜よ
サツテモドウジヤイナ
五、さあさ積み出せ海山の富を
コリアサ
共にいそしむ私達
伸び行く村に香も高い

良いとこ淡路の厚浜よ
サツテモドウジヤイナ

※中川原村史より

遊び水あそび!

ふくろう喫茶&カクテルバーのおしらせ

本格カクテルを味わえます

☐ふくろうカクテルバー

日時:6月21日(木)
13:30~15:00



バーテンダー役の栗栖さん

☐ふくろう喫茶

日時:6月24日(日)13:30~15:00

コーヒー・紅茶・ココア・カルピスなど
1杯200円より
入居者さんと一緒に、
楽しい時間を過ごしましょ



みなさまのおこしをお待ちしております



営業日時:月曜日~金曜日 10:00~18:00
(菓子の日:月~金&パンの日:火~金)
販売先:〒656-0025 洲本市本町7丁目3-41
TEL&FAX 0799-26-6133

地域を歩く~光照寺 巡礼さんとお接待~

天気の良い5月13日の日曜日、淡路ふくろうの郷から程近くにある光照寺に出かけました。

この日は地元中川原町の方々が集まり、新仏さまを拜む日で、お茶を飲みながら、穏やかな雰囲気でした。

ご住職のお話をありがたくお聞きし、みんなで合掌し、昨年亡くなられた方々を思い、お祈りしました。



▲ご住職の笹津さんのお話を聞かれる入居者さんたち

ふくろう学習会のおしらせ

- テーマ: 「ろう者の親として、子育てから見える社会」
- 日時:7月28日(土)15時30分~17時
- 場所:淡路ふくろうの郷 地域交流スペース
- 講師:岩林恵子さん
(ひょうご聴覚障害者福祉事業協会 評議員)
- お問い合わせはこちらまで
TEL:0799(25)8550 FAX:0799(25)8551